

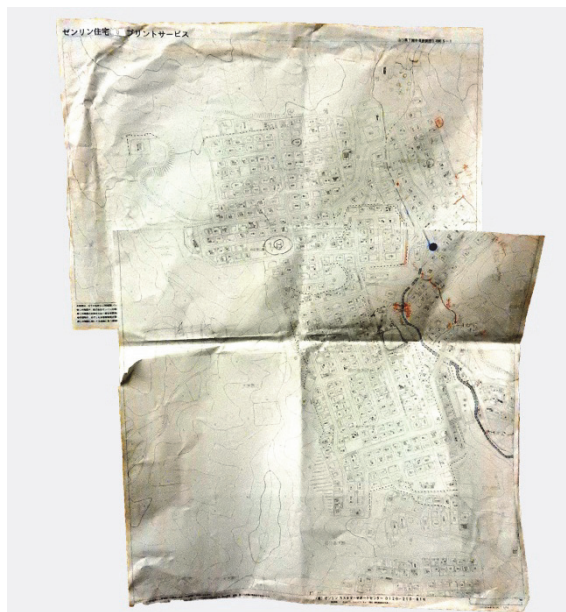
## 2 防災マップ作成過程の原稿

### (1) まち歩き用地図

ここでは、防災マップの作成過程で使用した地図（原稿類）を、順を追って掲載する。織り込んである完成版の防災マップと比較して、作成過程の参考としていただきたい。最初は、まち歩きに使用した地図である。書き込みやすさを重視して、市販の住宅地図を使用している。



まち歩きしながら書き込んだマップ（海側地区）



まち歩きしながら書き込んだマップ（山側地区）

## (2) 暫定まとめ図

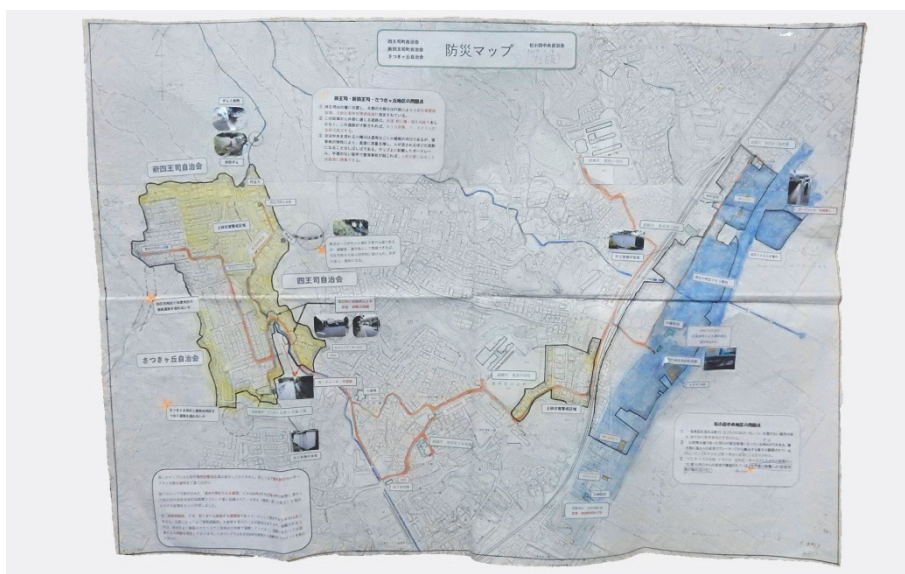
2番目は、まち歩きを終えて、書き込んだ内容を付箋等で整理した地図である。以降は、都市計画課から入手した2,500分の1の地図を原図として使用している。なお、本図の作成時点では、山側地区と海側地区は1枚の図とする予定であったため、1枚で両地区を含む構成となっている。



暫定まとめ図

## (3) 編集加工図

最後は、暫定まとめ図を基に、編集・加工して清書した地図である。この図を原稿として、基礎調査機関（次年度以降においては印刷会社・デザイン会社等）に電子データ化を依頼した。



編集加工図

# 防災マップ作成マニュアル

平成 30 年 3 月

長府東部地区まちづくり協議会

## 目次

1 概説及び目的 .....	75
2 作業の全体像 .....	75
3 各作業の詳細 .....	77
4 マップ作成により分かった問題点 .....	89

参考資料1 岡山県真庭市 <sup>かいで</sup> 開田連合自治会

参考資料2 岡山県岡山市 操明学区連合自主防災会

注：参考資料1、2については、「第3章 現地調査報告」と重複するため、本報告書では割愛している。

## 1 概説及び目的

平成 29 年度下関市調査研究事業に、長府東部地区まちづくり協議会（以下、まちづくり協議会と言う）の「ふるさと防災マップづくり事業」が採択された。これに伴い、7月から防災マップ作成のための作業を始めた。

今回、マップ作成作業終了に当たり、作成プロセスを、来年度以降「ふるさと防災マップ」を作られる方の参考になればと、「作成マニュアル」というかたちで記録することにした。

最終章で、今回の作業で分かったマップ作成上の問題点及び自主防災組織活動をする上での若干の提案をした。

## 2 作業の全体像

作業のフローチャートは以下のとおりである。

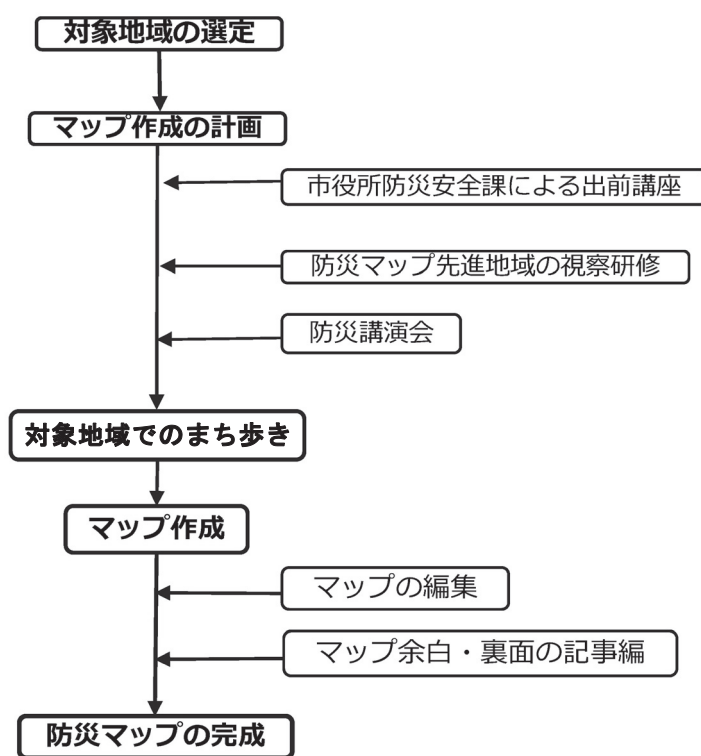


図1 作業フローチャート

次ページ表-1に活動内容を時系列に沿って示した。

表－１ 2017年度 防災マップ作成に関わる活動内容

月日	名称	場所	内容	備考
6月28日	事前打ち合わせ	市役所 308会議室		
7月4日	第1回委員会事前調整	長府東公民館	参加経緯の説明他	
7月5日	第1回委員会	勝山公民館	公募・選定に至るまでの経過報告	
8月1日	第1回検討部会	長府東公民館	・対象地区の決定 ・作成工程（案）の説明 ・その他	
8月10日	作成分科会	長府東公民館	講演会の準備及びマップ作成詳細計画について	つくろう部会 メンバー
8月17日	防災課による出前講座	長府東公民館	ハザードマップの説明・解説	
8月29日	先進地視察研修	岡山県真庭市	真庭市開田地区における自主防災活動の視察。主に防災マップについて	
8月30日	先進地視察研修	岡山県岡山市	岡山市操明学区における自主防災活動の視察。主に防災マップについて	
9月3日	防災講演会	長府東公民館		
9月5日	第2回検討部会	長府東公民館		
9月18日	まち歩き	松小田中央自治会	マップ作成のための調査	
9月24日	まち歩き	新四王司町自治会 さつきヶ丘自治会	マップ作成のための調査	
9月30日	過去の浸水水位の測量	松小田中央自治会	松小田中央自治会会館横のブロック塀	
10月1日	まち歩き	四王司町自治会	マップ作成のための調査	
10月6日	マップ作成	四王司町公会堂	四王司町自治会	
10月9日	マップ作成	新四王司町公民館	新四王司町・さつきヶ丘	
10月10日	マップ作成	高齢者生活相談室	松小田中央自治会	
10月18日	第3回検討部会	長府東公民館		
10月26日	第2回委員会	長府東公民館		
11月6日	作成分科会	大藤園	マップ裏面記事について	
11月17日	新ハザードマップ説明会	長府東公民館	防災安全課が説明	
11月22日	防災安全課との意見調整	市役所防災安全課	11/17の再確認	
11月29日	第4回検討部会	長府東公民館	裏面記事、要介護者支援	
12月13日	作成分科会	長府東公民館	最終の編集内容について	
1月16日	第5回検討部会	長府東公民館	マップ、マニュアル（本書）内容の最終確認	
2月2日	第3回委員会	長府東公民館	マップ、マニュアル（本書）及び報告書の承認	

## 3 各作業の詳細

### (1) 対象区域の選定

第1回検討部会において、連合自治会の協力のもと担当自治会長了解の上下記のとおり決定した。選定理由は次のとおり。

- ・土砂災害指定区域が多く含まれ、対策が急がれたこと（新四王司自治会他）
- ・過去に水害があったこと（松小田中央自治会）
- ・自治会の協力が得やすく、まち歩きやマップ作成を行う人材が確保できたこと（共通）

#### ①土砂災害警戒区域

新四王司町自治会・四王司町自治会・さつきヶ丘自治会の3自治会をまとめて1地区とし、対象地区とした。

#### ②津波・浸水警戒区域

松小田中央自治会を対象地区とした。

### (2) マップ作成の計画

防災マップの重要性を再認識するため、地元住民あるいはマップ作成担当者を対象に、以下のような講演会・研修を行った。

#### ①市役所防災安全課による出前講座

1. 防災安全課作成の防災マップ（ハザードマップ）の一般的説明。
  - ・長府東部地区で想定される災害
  - ・長府東部地区における各種ハザードマップの説明（津波ハザードマップ、高潮ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、揺れやすさマップ）
2. 住民自身が作成する今回の防災マップに記載項目の提案。
  - ・ハザードマップに記載されている情報、記載されていない情報の整理
  - ・住民による防災マップ作成時の留意点

以上の内容について、市の牧田主任、合澤さんに説明してもらった。参加者は34名であった。

#### ②防災マップ先進地域の視察・研修

マップ作成は、今回全員が初めての経験なので、先進地域の状況あるいは完成したマップを確認理解するため視察・研修を行った。視察地域の選定に当たっては、一般財団法人地方自治研究機構（以下、機構と言う）から十数件の地域を推薦してもらい、それをもとに我々で特徴等をマトリックスにまとめた（表-2参照）。

効率的にするため以下の2か所を選定し、第1回検討部会で承認を受けた。



i) 岡山県真庭市開田<sup>まにわ かいで</sup>連合自治会

当地は、旭川中流に位置する中山間地域で、過去の台風で土砂災害の被害を受けている。

ii) 岡山県岡山市操明<sup>そうめいがっく</sup>学区連合自主防災会

当地は、旭川最下流部に位置し、想定している災害は、高潮等による浸水災害である。  
視察・研修の報告書については、本マニュアルの巻末に参考資料として添付する。



表一2 視察地選定のためのマトリックス

	岡山市操明学区	建部町川口地区	開田自治会	おおうだ南部地域	水の自遊人アサガ隊	武雄市、北方町、多久市
場所	岡山県岡山市	岡山県建部町	岡山県真庭市 (旧落合町)	奈良県宇陀市	山口県防府市	佐賀県
対象員数	約7,000人	約680人	約250人	人数不明(3自治体)	不明	不明
地域の特色	【旭川の河口部】 旭川と百間川に挟まれた平野部。ウォーキング大会に危険個所を組み込むなどして防災意識の高揚に努めている。	【旭川の上流部】 過去に災害経験あり。地区住民と消防が連携した防災対応が出来上がっている。	【旭川の中流部】 H10年の台風10号の反省から消防団を中心に積極的な防災対応を進めている。地域の付き合いが強く、高齢者の把握が出来ている。	【奈良県北部・内陸部】 詳細は不明	【1級河川佐波川下流域】 過去には佐波川本川がしばしば氾濫していたが、上流にダム(佐波川ダム、島地川ダム)が建設され、1972年(昭和47年)昭和47年7月豪雨災害以降は、河川氾濫による浸水被害は出ていない。2009年の7月豪雨で流域の沢で土石流が発生。14名死亡。	【有明海にそぐ筑後川、六角川等の下流域】 地形的要因で豪雨時に自然排水が困難。過去には大規模な水害が頻繁に起こっている。
マップを作る目的及び特色	いざという時に必要な情報をマップに反映させる。消火栓の位置、道路の有効幅、避難場所・避難所の位置等	過去の災害の位置などを教訓をマップに反映する。	災害の時に知っておくべき生きた情報(土嚢が配備されている状況)や要介護者の居住状況)をマップに反映	避難所・役に立つ施設・危険個所等を写真付きで、マップに記載。	【自助】 ①避難する際の目安を理解し、目らの判断で避難できる。 ②避難場所、経路を把握し、自ら避難できる。 【共助】 ①地域において助け合いの体制を作る。 ②防災体制について話し合い、地域の防災力向上に努める。	
費用	35万円 4色 2,000部	不明	不明	不明	不明	不明
適否	◎	○	◎	△	○	△